

～ 今月の図書案内 ～

6月に入り、雨が降る日が多くなりましたね。

雨のせいで外に出れず、退屈かもしれませんが、そのような季節だからこそ図書館で本を借りて、読書を楽しんでください。

今年度の新着図書が入荷しましたので、ぜひお立ち寄りください。

★今月の新着おすすめ本



「ねこねこ日本史 13」 そにし けんじ

歴史の人物たちを猫やその他の動物に模した、人気シリーズ漫画第13巻。現在、大河ドラマで主役の家康や日本に鉄砲を流行らせた種子島時堯（たねがしま ときたか）、日本で普通選挙を実現させた犬養毅など、彼らがどんなことをしていたのかがよくわかります。歴史の流れをなぞりつつも、猫たちの微笑ましいやりとりで和みます。



「時生（トキオ）」 東野 圭吾

難病の息子を看取る直前、拓実は不意に思い出す。俺は昔こいつに会っている…。現実には不可能で説明できないけれど、未来の息子（謎の青年・トキオ）が、若かった拓実の前に現れ、共に旅する奇跡の物語。突然失踪した恋人を追ううち、彼女が巻き込まれた陰謀、そして拓実を捨てざるを得なかった母や顔も知らない父の秘密が明らかになっていく。

「語学の天才まで1億光年」 高野 秀行

学んだ言語は25以上！ 辺境ノンフィクション作家による、破天荒で壮大な語学青春記。現地を訪れる際に、必ずその言語を学ぶという言語オタクと化した著者。辞書も教科書もない辺境の言語は、ネイティブを探して学び聴き取り、ノートに書き写し、自分で法則性を見つける…そのユニークな学習法に、語学上達のヒントが満載！ 語学本というよりは冒険記。



「じわじわくる文具」 松岡 厚志

使い続けるとじわじわ魅力がわかる…そんな文具を、普段使っているものの中から紹介しています。削りカスの出ない金属製の鉛筆、汚れが目立たない黒い消しゴム、右利きと左利き両方に使えるように目盛りがついている定規など、様々な工夫が凝らされ、魅力的な文具が写真付きで掲載されています。読むと、使いたい文具が見つかるかもしれません。



「真夏の甲子園は いらない」 玉木 正之、小林 信也 編

日本の夏の風物詩となっている甲子園ですが、大会が大人たちのために行われていると著者は指摘しています。その他にも、選手の育成制度や「補欠ゼロ」への実現など、サッカーの成功例に学ぶべきだと問題提起しています。本当に野球界のため、そして高校生のためになる取り組みとはどのようなものか、を考えるきっかけになります。



「世界の研究者が調べた すごすぎる実験の図鑑」 ライブ【企画・編】

「不老不死は実現する？」といった最先端テーマから「睡眠学習に効果があるか？」といった日常の些細な疑問にスポットを当てたものまで、古今東西の科学者たちが行った100の実験&研究を集めた一冊。心理学、生物学、脳科学、人工知能、再生医療など多岐にわたり、「科学はちょっと苦手」という人でも楽しく読め、知的探求心を刺激することでしょう。

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館時間 8:35～16:45（色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります）

★図書館からのおすすめ本